2024年度活動支援事業　信州 社会課題解決の担い手　ステップアップ事業
組織診断実施後の支援対象活動計画（詳細版）【公開版】

作成：　まちの縁側なから（支援対象団体）
信州社会事業応援ネットワーク（活動支援団体）

基本情報【公開】

支援対象団体名	特定非営利活動法人　まちの縁側なから
作成日	2026年3月30日
支援期間	2026年4月1日～2027年3月31日
事務局担当者（コーディネーター）名	粟津 知佳子、山本 大輔
専門家名（支援分野）	行政書士（※検討中）
参加予定の共通プログラム（オンラインで1～3時間程度の研修会を予定）	（以下から複数選択） ☑ ビジョン・ミッション ☑ 団体内コミュニケーション ☑ 中期計画の策定 ☑ 労務管理 ☑ 収支 ☑ ファンドレイジング ☑ 広報 ☑ 理事会 ☑ リスク管理

組織診断の実施【公開】

取り組み内容	時期
集合研修への参加（全2回）	2025年11月、2026年1月
組織診断チェックシートへの回答	2025年11月～12月
ステークホルダー意見の収集	2025年11月～12月
団体内ミーティング（全2回）	2025年12月～2026年2月
組織診断報告書の作成	2026年3月

個別支援計画【公開】

「信州 社会課題解決の担い手　ステップアップ事業」における2026年度の成果目標
・団体内で目指す方向性、今後の組織や活動のあり方について話し合い、合意形成ができている。 ・現在代表に集中している役割を整理し、役割分担を見直すことで、より無理のない持続可能な運営体制に移行できている。 ・将来的に活動を後継者に引き継げる状態に向けて、公私の線引きが整理できている。

	テーマ	取組内容	時期	支援
1	団体の方向性	・ファシリテーターの支援を受けながら、団体内で話し合い、団体の目指す方向性・ビジョンを再確認した上で、どんな組織を目指すかについて話し合う。	4月～	コーディネーターがファシリテーターとして伴走支援を行う。
2	役割分担の整理・代表の負担軽減	・ファシリテーターの支援を受けながら、役割分担の整理を話し合う。 ・共通プログラムや長野県のNPO運営セミナー等を通じて、事務、会計について学ぶ。 ・団体内部でデータの管理と共有を進める。	5月～	コーディネーターがファシリテーターとして伴走支援を行う。
3	今後の組織・活動のあり方	ファシリテーターの支援を受けながら、今後の組織・活動のあり方について、選択肢を団体内で話し合う。	7月	コーディネーターがファシリテーターとして伴走支援を行う。
4	公私の線引き	外部の専門家（行政書士）に協力いただき自	4月～	外部の専門家（行政書士）

		宅と地域拠点の区分を整理する。		に協力を依頼する。
5	収支の検討	伴走支援者の支援を受けながら、収支を検討する。	11月	コーディネーターが伴走支援を行う。